

“シャキッ”と新聞

今月の“シャキッ”とする週間

2013. 7. 12
西中PTA執行部 発行
責任者 高橋 敦志

早いもので、1学期も残りわずかとなりました。5月に今年度のPTA活動がスタートして以来、先生方や保護者の皆さま、地域の皆さまとお話をする機会に恵まれ、日々勉強させていただき、改めて“コミュニケーション”の大切さと難しさ、そして楽しさを実感しております。

さて、まもなく夏休みを迎えますが、皆さまにもお馴染みの稲野小学校地区社会福祉協議会主催『納涼ふれあい夏祭り』に向けて、PTAでは着々と準備を進めております。詳細につきましては、後日配布しますく納涼ふれあい夏祭りのご案内をご覧ください、ご家族やご近所の皆さまとお誘い合わせのうえご参加ください。



伊丹市内8中学校校長会との交流会 H25. 7. 10
教育センター多目的室

伊丹市内5高校校長先生との交流会 H25. 7. 11
兵庫県立伊丹高等学校・緑創館

◆各校の現状

◆学区拡大に伴う生徒への対処と取り組み

今まで以上に進路についての意識づけが必要となり、中学校間の横のつながりを強化して、阪神地区で統一の資料を作成する事も検討されているそうです。

◆内申の基準点は各校でどのように違うのか

相対評価ではなく絶対評価を取り入れている為、全校同じ基準表に沿って内申点が決定されているそうです。

◆統一テストの開示と市内の順位

統一テストの結果は、すでに開示されています。市内の順位については、採点基準はあるものの、各校で採点にどうしてもばらつきが生じる事と、テスト結果の取りまとめが難しい事等を理由に開示していないそうです。

二日間にわたっての校長先生との交流会でしたが、それぞれで雰囲気も違い勉強になることも多く、いろいろと考えさせられる会となりました。その中で、中学校・高校共に同じ話題がありました。それは携帯電話のトラブルについてです。SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、LINE（ライン）でのトラブルが子どもたちの間で増えているそうです。SNS？LINE？私たち保護者の中には？？？の方も少なくないと思いますが、子どもたちの間でトラブルが増えている事は事実です。わからない知らないでは済まされません。私たちも勉強をする必要があります。そして、気軽に何でも書き込めるインターネットの中にも、ルールやマナーが必要である事を、大人の私たちが示さなければいけないと感じました。

交流会の詳細につきましては、2学期以降PTA室に議事録を保管しますので、ご覧になりたい方はお気軽に執行部役員までお声かけください。

◆各高校の特色・取り組み等の説明

◆その他フリートーク形式で意見交換

英語力が重視される世の中、英語が話せるだけではなく、英語でコミュニケーションがとれるようにする取り組み等、各校それぞれ特色のあるお話をされました。

子育てについて、学校で行われるすべての事柄には意味があります。これから社会に出ていく子どもたちにとっては、必ず肥やしとなります。子どもは親の言う通りにはせず、親のする通りにします。やってみせて、言って聞かせて、やらせてみて、ほめてやらねば人は動かじ…山本五十六さんの言葉を通して、学校は子育ての味方である事を話されていました。

7月の企画委員会にて・・・

養護教諭の黒野先生より、保健室に来る子どもたちの呟きです。

「お父さんとお母さんがケンカして…」
「お母さんはお姉ちゃんの方が好きみたいだから…」
「女の子の方が損だと思う…」

もう中学生だからと思っていた子どもたちですが、まだ中学生なんですとお話しいただきました。

たまには抱きしめてあげてもいいのかもしれないね……。気持ち悪がられてもいいそうですよ！

～地区活動部よりお願い～

10月に行われる文化祭で、今年もPTA地区活動部ではバザー店を行います。いただき物等で、使わずに眠っている物がありましたら、是非ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

バザー一品回収の日程等、詳細につきましては、2学期に入りましたらお手紙にてお知らせさせていただきます。



会長のひとりごと



～ 栄冠は君に輝く ～

この言葉を聞いて誰しも思い浮かべるのは“夏の甲子園”全国高等学校野球選手権大会だと思います。この真夏の風物詩となった大会より一足先の6月中旬から、伊丹市中学校総合体育大会が始まりました。

伊丹市中学総体で、主に大会開催の中心となった7月6日・7日に私は、女子ソフトテニス部の応援に参加しました。6日は団体戦、7日は個人戦（ダブルス）です。各学校の選手・チームのメンバー・保護者の熱心な応援。初夏の炎天下の中、各コートで熱い熱い声援が飛び交っていました。結果、西中学校女子ソフトテニス部は団体と個人で3チームが阪神大会へと進出することができました。西中生はもちろんのこと、他の中学校の選手も総体にかける思いは同じで、勝てば喜び、負ければ涙。応援をしている保護者の目にも涙が見受けられ、大会会場には青春と感動の風が吹いていました。

他の会場でも同じ感動の場面があったことでしょう。特に3年生にとっては最後の総体です。なんとかいい結果を出し、次につなげたいという気持ちもあったはずですが、その希望通りにならなかったこともあったことでしょう。

“栄冠は君に輝く”と同じく有名な青春の言葉“ふり向くな君は美しい”という、年末年始を彩る、全国高校サッカー選手権大会のテーマソングがあります。勝ち負けが絡む競技をする子どもたち、そしてこの夏の総体で中学校の部活動が最後となる3年生へ、この曲の歌詞を贈りたいと思います。

【ふり向くな君は美しい】

うつ向くなよ ふり向くなよ 君は 美しい 戦いに敗れても 君は美しい
今ここに青春を刻んだと グランドの土を 手にとれば 誰も涙を笑わないだろう
誰も拍手を 惜しまないだろう また逢おう いつの日か また逢おう いつの日か 君の
その顔を 忘れない
(作詞：阿久悠 作曲：三木たかし)

子どもたちの周りには感動がいっぱいです。その感動に関わってくださっている先生方、ありがとうございます！そして、保護者の皆さん、精一杯の西中生への声援をよろしくお願い致します！

次回の“シャキッ”とする週間は、9/17(火)～9/20(金)です。

朝のあいさつ運動は8：10頃～8：30頃まで正門付近で行います。夏休みを終え、また一回り成長した子どもたちの姿が見られることでしょう！ ぜひ皆様ご参加ください。